

宮陵会報

Kyu-Ryo

2024・12
(令和6)

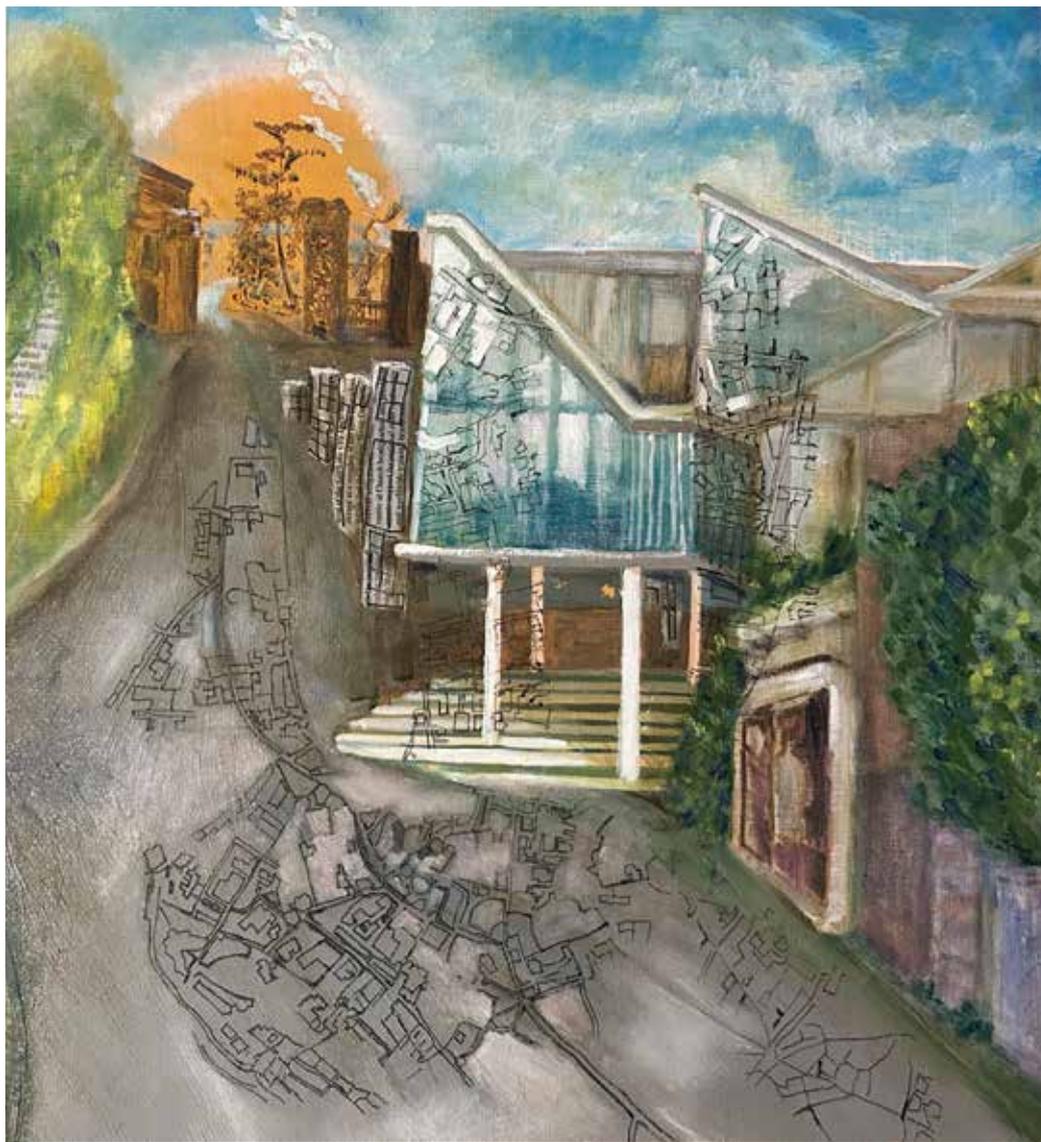
No.119

一般社団法人
神奈川大学宮陵会
広報委員会

〒221-0802
横浜市神奈川区六角橋3-27-1
神奈川大学内

TEL 045-481-5661
(内線 2451~3)

FAX 045-413-0791
kyuryou-jimu@kanagawa-u.ac.jp



「宮陵会館と前身の横浜専門学校当時の校門」(絵 渡邊 恵子)

目次 No.119

会長挨拶、全日本大学駅伝応援記	P2
事務局からのお知らせ、神大フェスタとコラボし宮陵会館をPR、表紙のことば	P3
神奈川大学音楽祭開催を終えて(石田博英埼玉県宮陵会事務局長)	P4
臨時列車を貸し切り総会開催(高森秀雄函館宮陵会事務局長)	P5
特許を取得(品川悦也さん)、宮陵会掲示板など	P6
活躍する卒業生(川野祐二久留米大学経済学部教授)	P7
活躍する卒業生(大貫美波エイベックス・マネジメント株式会社社員)	P8
アンケート、(広告、宮陵会オリジナル商品の紹介と販売)	P9
Kyu-Ryo photo gallery(武笠健次さん)	P10
活躍する卒業生(後田多敦神奈川大学国際日本学部教授)	P11
卒業生の声(岡村光惟さん、吉見一彦さん、山本善太さん、中村利夫さん、飯牟禮成則さん、白井重輝さん)	P12~P14
2024年度代議員選挙代議員候補者名簿	P15~P18
大学からのお知らせ(ホップ栽培プロジェクト)	P19
東京箱根間往復大学駅伝競走応援ガイド	P20



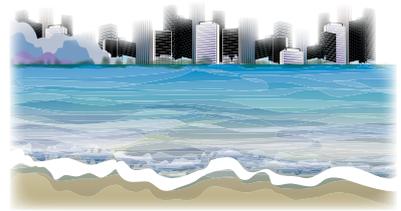
湖で泳ぐこと^{なか}勿れ!

会長
久保 清治

1970年夏、留学先に近いミシガン湖で泳いだ時、私は溺死寸前の危ない体験をした。

湖なので浮力が少ない、白波がかなり遠方まで漂っていることを承知で、少々自信のあった私は、ガールフレンドの前でカッコ良く泳ぐ姿を見せようと、颯爽とクロールで沖合に向かった。白波が途切れなく続くことに気付いた私は、ふと身の危険を感じ、引き返すことにした。だが、戻れない。岸に向って懸命に手足を振っても、少ししか進まない。焦った、もがいた、疲れてきた。水を飲んだり、足もつったりした。

私は死を覚悟した。岸边は見えたが、帰還を諦め、ただただ浮いていた。私の目からは、涙



がボロボロ出た。「死んだらダメよ」と泣き叫ぶ母の顔、兄弟・親類・友・田舎の風景などが走馬灯のように浮かんで消えた。湖での死体はあがらない、との遠吠えも聞こえた。

ふと気づくと、私の体は、岸に向かって左方にゆっくりと流れていた。湖にも水流（潮流）があったのだ。約3時間後、私は幸運にも船着き場に接近し、救助された。助かったのだ！ちなみに、彼女からはキャンパスに戻ってから、さりげなく「friendのままです」という連絡があった。

それ以来きょうまで、私は海やプールに足を踏み入れたことはない。

愛しい後輩の学生諸君、「湖で泳ぐこと^{なか}勿れ!」

駅伝応援記

全日本駅伝の沿道応援に行つて参りました

2年ぶりの出場となった「第56回全日本大学駅伝」。宮陵会から事業委員会、広報委員会の委員らが応援に向かいました。大会前日の11月2日に名古屋入り。現地では愛知みやも会の多湖秀明会長にお出迎えいただき、翌日の応援について打ち合わせを行いました。移動をどう確保かつ効率よく行つか、アドバイスをいただきました。

当日は、前日の雨から一転の快晴。スタート地点ではチアリーディング部が待機し、高揚感と華やかな雰囲気を出しています。ただ、少し残念だったのは神大のほりが5本しかなかったこと。他大学に比べると若干さびしく、多湖会長も「大学にはもう少しのほりを提供してもらえれば」と要望していました。

号砲とともに過ぎ去った1区の大岩連選手の背中を見届け、次に向かう応援場所は6区の津市駅前。近鉄電車に乗ると、同じように追いかける他大学の父母らと「呉越同舟」です。駅から選手が走る国道23号までは2、3分の至近距離です。先頭から離れたも必死に食らいつく滝本朗史選手の懸命の走りに声援を送ると、すぐに駅に戻りフィニッシュ地点に近い伊勢市駅に向かいます。すでにチアリーディング部は応援体制を整えており、アンカーの志食隆希選手を最高の声援で

迎えることができました。

この大会の2週間前は、季節外れの暑さで過酷なレースとなった箱根駅伝予選会を勝ち抜いた選手たち。疲れも残っているはずで、万全の状態ではないことは素人でも想像できました。伊勢路では14位でシード権は獲得できませんでしたが、この経験を箱根駅伝に生かしてもらいたいと思います。

(広報委員会副委員長 和知親裕)



スタート時に集まった応援団



応援するチアリーディング部の学生

宮陵会事務局からのお知らせ

◇ 会議予定

理事会 2025(令和7)年2月1日(土)
3月1日(土)
3月22日(土) 予備日

◇ 年末年始休暇

2024(令和6)年12月28日(土)～
2025(令和7)年1月6日(月)

◇ 地域組織 新代表者紹介

佐賀県宮陵会	昭56電	池上敏昭様
茅ヶ崎・寒川宮陵会	昭42法	三留豊正様
写真研究部OB会	昭48経	藤井 薫様
男子ラクロス部 OB 宮陵会	平7経	古川正知様
スケート部スピード部門OB・OG会	平28人科	齋藤 悠様

■ 訃報 謹んでお悔やみ申し上げます。

2024(令和6)年7月24日
渡辺範男様(昭46経)
前高知県宮陵会会長

表紙のことは

題名「宮陵会館と前身の横濱専門学校当時の校門」

2024(令和6)年11月制作 S8号(変形)

創立100周年記念シリーズ3。元巖松堂書店の角を曲がり、斎藤洋服店を過ぎると卒業生設計の四層建築の宮陵会館が見える。その坂道をたどると、90年前も横濱専門学校の校門が学生を迎えていた。

渡邊恵子(1977年法学部法律学科卒)

◇ 事務局よりお願い

【会費納入について】

宮陵会の安定的な運営のため、会費の納入をお願い致します。会費が未納の場合は、会員資格が「普通会员」となり、代議員となる資格がなくなる場合があります。「会費納入について(お願い)」は、8月発送の『宮陵会報』(No.118)とともに会員の皆さまにお届けしております。個々人の納入金額等が明記されておりますので、いま一度ご確認をお願い申し上げます。

【住所等の変更について】

登録されている氏名・住所・電話番号・勤務先などに変更があれば、ご連絡をお願い申し上げます。

① 神奈川大学ホームページ

卒業生情報登録・変更のご案内

(https://www.kanagawa-u.ac.jp/alumni_menu/registration/) ⇒



② FAX 045-413-0791

③ E-mail kyuryou-jimu@kanagawa-u.ac.jp

※登録いただきました情報につきましては、皆さまの個人情報の重要性を深く認識し、個人情報保護方針に従い適正な保護管理に努めています。



神大フェスタとコラボし宮陵会館をPR

「宮陵会館って何?」。宮陵会館が完成して6年になりますが、まだその存在は在校生、同窓生ともに広くは知られていないようです。そんな宮陵会館に多くの人に立ち寄ってもらうべく、交流企画委員会が中心となり10月26、27日開催の「神大フェスタ」とコラボしたイベントを実施しました。

メンバーは数カ月前から準備を開始。会館を開放して全国各地の宮陵会のPRブースを出し、在校生に故郷の宮陵会を知ってもらうきっかけにできないか、卒業生の経営する企業や団体に展示してもらい商品の販売をしてもらったかどうか、などのアイデアが出ました。

しかし初めての企画のため、確実にできることから実行しようと、委員会からの募集に応じた地域組織による活動紹介をパネル展示しました。また企業からは商品案内のパンフレットや試供品の提供もありました。学生アルバイトも募集し、延べ11人の学生に展示品並べ、給茶、会館内での来場者への案内などを手伝っていただきました。

フェスタ初日は会場を訪れる人は少なく、にぎわうキャンパス内で告知チラシを配布。宮陵会理事も交代で、会館前で呼び込みをしました。2日目は晴天の下、パネルを屋外に展示した効果もあり、立ち寄った人は多く、提供していただいたお茶を味わい、展示パネルに

足を止めて見入っていました。

初めての試みではありましたが、この経験を生かして来年以降につなげていきたいと思えます。なおご協力いただいたのは、札幌、室蘭、三浦半島、藤沢、町田、秦野市、静岡西部、愛知みやも会、鳥取伯耆の各宮陵会と磯田園、丸京製菓、ファーストケミカル、龍譚寺、春華堂、未来環境テクノロジー、神奈川大学生生活協同組合の企業や団体の皆さんです。ありがとうございました。(宮陵会広報委員会副委員長 和知親裕)



宮陵会館前の展示パネル



神大フェスタ休憩の様子



神大フェスタ展示



神大フェスタ 試供品

初の「神奈川大学音楽祭inセレストホール」を終えて

神奈川大学埼玉県宮陵会事務局長 石田 博英 (1972(昭和47)年 経済学部貿易学科卒業)

神大音楽祭をセレストホールで開催する着想を得たのは、コロナ蔓延中の2022(令和4)年でした。発表の場もない状況で、音楽祭とスポーツ芸術の灯が神大でも永く陰つていました。「彼らに発表の場を設けたい」「観客は卒業生でよいではないか」。まずは準備に半年かけました。理念や概念、企画書、手順書が出来たのは翌23年でした。演歌のようですが、それが苦勞の始まりでした。

予測でした。過去の経験値がないので、十人か千人かも分りかねました。定員以上の来場を随分心配しました。「そんなに来ないよ」「来たかどうか」の応酬の毎日でした。おかげさまで結果は、常時200人という入場者数でした。

そもそも埼玉県宮陵会が音楽祭を企画、開催すること自体の説明が厄介でした。役員会の承認、予算監理、出演オファー、日程調整、どれも初めての経験で苦勞の連続でした。幸いに役員会は暖かく、しかも冷静に受け止めました。第一の関門は、音楽祭開催時期でした。7つの団体の出演日時がびたりと合うまでに、2

か月半かかりました。次は来場者の予測でした。過去の経験値がないので、十人か千人かも分りかねました。定員以上の来場を随分心配しました。「そんなに来ないよ」「来たかどうか」の応酬の毎日でした。おかげさまで結果は、常時200人という入場者数でした。

司会者の招聘も難航しました。神大放送研究会へオファーしましたが一蹴されました。困った時の宮陵会。54年法律卒)に司会を快く引き受けていただき、本当に助かりました。細かく言えば、制作過程はほぼ苦勞話です。ポスターデザイン、プログラム制作、定例会議、進捗監理、予算管理、極めつきは音楽祭開催10日前にパートナーと思っていた舞台監督が戦場放棄するなど、「参ったなあ」

が続きました。しかしです。そのことで監督の代わりに自分が出演者との窓口になつて分かつたことですが、出演者の学生たちがこの音楽祭を本気で取り組み、夜遅くまで練習を重ねていたことを、その時初めて知りました。どの参加団体も同じでした。自分の浅はかさを恥じました。たった30分の出番に練習などしないだろうと誠に失礼千萬な考えでした。そのあとチャリディング部のリハーサルを見せていただき、その熱意にわが年齢で涙ぐんだことを白状します。

学生の本気は絶大な力になることを実感しました。世代間交流という今回の理念が学生の方から私に迫って来ました。無論いぶし銀の先輩たちの歌声や演奏は、われわれ同年輩の心をほぐすような安心感でした。ス

テージ脇で観客の卒業生の拍手を聴くにつけ、「やってきて本当に良かった」と実感しました。「ひよつとして今後音楽祭企画が癖にならねばよいが…、あぶない、あぶない」と思う翌10月7日でした。



あいさつする小熊誠神奈川大学学長(左)・久保清治宮陵会会長(右)



インタビューする司会の庄子さち子さん



ギターアンサンブル部の皆さん



フロイドコール・レジェンド宮陵会の皆さん



管弦楽団の皆さん



チャリディング部 Wing の皆さん



カレッチ・サウンド・オーケストラの皆さん



(横浜・みなとみらい) 軽音楽部の皆さん



マンドリン・アンサンブルの皆さん



軽音楽部 OB 新川ラプセブンの皆さん

◎臨時列車を貸し切った総会は全国的にも珍しいと思ひ、函館宮陵会の今年度の様子をお寄せいただきました。(編集部)

臨時列車を貸し切って総会を開催

函館宮陵会事務局長 高森秀雄 (平成1年第二経済学部貿易学科卒業)

函館宮陵会第67回定期総会は10月12日(土)、「道南いさりび鉄道ながまれ号」をチャーターして実施しました。

道南いさりび鉄道は2016年の北海道新幹線の開業時、並行在来線として廃止になった函館駅〜木古内駅間(約40キ)路線を第三セクター方式で引き継いだ鉄道会社で、神大OBの川越英雄さん(昭和55年法律卒)が社長を務めております。

開催当日は、函館駅構内の団体改札口に箱根駅伝で使われる「神大のぼり」を掲げて受付を設置し、来賓の

明比卓神奈川大学理事長付審議役と原柳作宮陵会副会長を含め20名の参加者がカジュアルな服装で集合し、2番ホームで記念撮影をした後、15時50分発の「函館宮陵会ながまれ号」に乗車しました。

車窓から綺麗な景色を眺めることができる「矢不來停車場」に45分間停車。総会は杉崎和紀会長(昭和46年経済卒)のあいさつで始まり、提案された議案を承認した後、来賓の二人からは大学の現況や宮陵会活動報告をもらい、その後終点の木古内駅へ向け出発しました。

車内で歓談しているうちに木古内駅に到着。駅では、おそろいの赤い法被を着た木古内町観光協会の皆さんの歓迎を受けました。その中に神大OGの池内文映さん(平成30年スペイン語卒)がおり、彼女からは来年の総会に参加する旨の申し出が



集合場所として改札口に掲げた「神大のぼり」



参加者全員が車内で記念撮影



木古内町公式キャラクター「キーコ」と(左端が筆者)



矢不來信号場から眺めた函館山

ありました。函館宮陵会に新しい風が吹き込んでくるような希望を感じ、とてもうれしかったです。木古内駅では隣接する「道の駅・みそぎの郷きこない」で郷土土産など購入し、18時32分に木古内駅から折り返しました。吉野谷直広副会長(昭和48年経済卒)の乾杯の音頭で懇親会が始まり、かなりアルコールが入ったところで出席者からは近況報告や提案なども出て、今後の函館

宮陵会が盛り上がることを確信しました。なかでも、函館山頂上展望レストランを利用する案など「一人でも多くの同窓生に参加してもらえ」運営に向け、参考となる声が多くあがりました。函館市街地の夜景と漁火が見られるポイントでは、列車内のライトを全部落とし、感激の一瞬となりました。盛会のうちに前会長の宮崎高志顧問(昭和45年貿易卒)の一本締めで懇親会は閉会。終点の一駅手前「五稜郭駅」通過時、神大校歌を斉唱し、函館駅に到着、解散となりました。今回は天候に恵まれるとともに多くの皆さまにご協力をいただきました。思い出に残る楽しい同窓会であったと思っております。

「太陽エネルギー収集システム」の特許を取得

北海道北斗市 品川 悦也(79歳)

しながわ・えつや
1945(昭和20)年1月、北海道北斗市生まれ。70(昭和45)年神奈川大学経済学部経済学科卒業。82(昭和57)年(株)土屋ホーム(北海道)入社、91(平成3)年同社退社。現在無職。

十数年前にある書物で、人類が1年間で使う総エネルギー量は太陽が地球を照らすエネルギーの1時間分よりも少ないとの記述を見て、太陽エネルギーの大きさに驚かされたことがあります。それ以来、漠然と太陽エネルギーの有効活用が出来ないものかと考えていました。そこで思い付いたのが形状記憶合金とのコラボでした。太陽熱と形状記憶合金の復元力で、無動力で物体を動かすことが出来るのではないかと考えました。

今回取得できた特許の名称は「太陽エネルギー収集システム(特許番号第7532695号)」です。内容は「無動力での太陽光発電パネルの角度変更および冷却システム」です。すなわち太陽高度(仰角)45度以下の時はパネルの角度を地面に対して45度前後(設置する場所の緯度によって異なる)に設定し、太陽高度が45度以上になるとパネルの角度を20度前後となるように設定します。これによって太陽高度が朝夕の低いとき、または日中の高い時でもパネル

の角度が変化して、パネルの表面は直射日光を受けやすい状態を保つことができます。

パネルの冷却(パネルの表面温度25℃を基準にして、温度が1度上がることに発電能力が0.4〜0.5%落ちる)には水の気化熱を利用します。パネルの角度を変更するときには、この水の重さの移動を利用します(晴天時の1日の水使用量は15〜20リットル)。この水の量や回数を制限するために、上記の太陽熱と形状記憶合金を利用します。

今、私はこの技術を広めたく、パートナーとなって頂ける企業を探しています。この技術にご興味のおありの方は、私のメールにご連絡いただければ解説図面をお送りいたします

▼shina.etsu@gmail.com



たは日中の高い時でもパネル



漫画研究部

1969(昭和44)年に始まった漫画研究会は「六角橋コミック」や「ウィークエンド」などの部誌を制作することを第一に活動してきました。漫画研究部になっても同じです。「ロナによる活動縮小を乗り越え、時代は変われども漫画は漫研らしく活動中。現在の活動はX(旧Twitter)やInstagramの公式アカウントで確認出来ます。」「ミツマーケットや神大フェスタなどイベントにも参加予定。ぜひお越しください。また、過去の部誌の寄贈も募っています。詳しくはQRコード」。

藤沢宮陵会

藤沢宮陵会は、1月2、3日の箱根駅伝応援を藤沢市の遊行寺前で担当しています。詳細は、藤沢宮陵会のホームページをご覧ください。
URL <http://kyuryou-soshiki.kanagawa-u.ac.jp/fujisawa/>

神奈川大学から

オンラインチャリティイベント『Giving Campaign 2024』応援ありがとうございます。本年10月11日(金)〜20日(日)100大学が参加しました。神奈川大学の応援参加者は3,637人(48番目)、創出寄付金は1,682,277円(17番目)でした。
Giving Campaign 2024 全国ボード(参加大学の状況をご覧ください)
<https://2024.giving-campaign.jp/stats>

神奈川大学内ランキング(本学参加団体の応援数を確認いただけます)
<https://kanagawa-u-2024.giving-campaign.jp/ranking>

謹告

本会は、地域組織の活動を支援する一環として、神奈川大学から地域組織管内に住所がある卒業生情報の提供を受け、それらを「地域組織総会及び各種イベント案内状配布以外には使用しない」、「会員情報(名簿・ラベル)は責任をもって管理すること」を条件に地域組織に提供し、会長名で「名簿の使用に際しては、個人情報保護の観点から、十分に配慮し、地域組織活動以外には使用しないよう」依頼し、「名簿管理は地域組織の会長が責任者となるよう」通知しています。かかるこの度、卒業生名簿が当会活動と全く関係がない、選挙で投票を求める葉書の宛名書に利用され、数名の会員の発注するとの事故が発生しました。誠に遺憾な事態であり、名簿を利用された会員の皆様や、神奈川大学など関係者各位に深くお詫び申し上げます。本会は、当該地域組織に対して厳重に注意し、その行為者に対し然るべき処分を求めました。また、行為者は本会の会員につき、本会の目的などに照らし、然るべき処置をしました。

同意を受けて提供を受けた個人情報、同意された使用目的以外に使用することには事前に本人の同意が必要であり、これを怠った場合、個人情報保護法により処罰されることがあります。個人情報、同意をいただいた範囲を超えて使用できないことを本会並びに地域組織において再確認し、再発防止に努めてまいります。

各地域組織におかれては、個人情報的重要性を理解され、その取扱いついて厳重に管理し、目的外に使用されたり、漏洩等の事故が生じないよう対策を徹底されるよう要請します。

一般社団法人神奈川大学宮陵会 会長 久保 清治

憧憬の平塚キャンパスと三十五年の夢

久留米大学経済学部教授 川野 祐二(54歳)

仕事中の筆者
(久留米大学2024年撮影)



かわの ゆうじ
93(平成5)年経営学部卒(平塚キャンパス一期生)、01年経営学研究科満期退学。89年テクノ企画、97年トヨタ財団、助成財団センター、科学技術振興事業団などを経て、東海大、筑波女子大、立命館大、産能大、獨協大、九州大、熊本県立大などで講師。05年千里金蘭大学専任講師。08年下関市立大学准教授、13年同教授、24年4月より現職。

89年(平成元年)は新入生だけの贅沢なキャンパスでした。北には丹沢

の山々を従えた大山が鎮座し、西を仰げば朝夕の光を浴びた富士山がそびえています。金目川から望む平塚市土屋の風景はさらさらと流れる川の音と雪化粧の富士が美しく、川沿いを走る道路は朝もやを立ちこめて、秦野に向かってなだらかに伸びていました。

金目川は上流で水無川に名前を変えて、登山道近くに至って沢へと姿を変えます。沢を登り切るとそこは丹沢の表尾根、そのすぐ先が塔ノ岳です。表尾根から望む湘南の海は絶景



丹沢で嬉しそうな小峰啓くん
(ユースインロッジ 2005年撮影)

で、眼下には丹沢前衛の山すそと市街地が広がり、中腹には白亜の平塚校舎が望めます。学生時代は、畏友の故小峰啓くん(理学部二期生)

と幾度も丹沢山塊を登りました。相模湾を一望するときの彼のうれしそうな横顔は忘れられません。「せっかく登ったのにより、下りなきやならないからなー」とつぶやくあの声が、あの笑顔とともに今も聞こえてくる気がします。

キャンパスの周囲は自然以外に何もなく、喫茶店代わりとばかりに研究室のドアをノックして回りました。先生方はいつもウエルカムで、どの部屋にも学生がたむろしていました。ゼミの神大とはよくいったものです。学生に慕われる先生がたくさんいらつしやったのです。私は1年次の基礎ゼミで松浦春樹先生の教えを受けました。爾来35年、同期入学の山本直孝さんと阿部憲之くんとともに先生を慕い、今なお年一回のペー

スで演習を開講していただいています(ビール付きですが)。大学3年次には尊敬する故箕輪成男先生の指導を仰ぎ、そのご助言に従って大学院に進みました。院では生涯の恩師となる故中山茂先生に師事し、私は学究の徒となりました。

ただお恥ずかしいことながら、当時の私はかなりの苦学生のうち世間知らずで、大学院はおろか学部の卒業すら危うい有様でした。ところが、それでも投げ出さずに粘っていると僥倖の訪れることがあります。心中に喜びを含んで励むことで何かが起こるのです。結局多くの人に助けられたのですから感謝の他に言葉がありません。

三十五年は一炊の夢。けれど私は平塚キャンパスで夢を啓き、神大恩師の薫陶を受けて今日がある身です。だから平成元年の春、「一期生



教え子からの卒業記念品(下関市立大学 2018年撮影)

の君たちがキャンパスの歴史をつくるのだ」と言われたその日から、あの頃のまま、胸中に存する憧憬のキャンパスで学び続ける、夢覚めやらぬ大学35年生の気分です。



松浦春樹先生を囲んで演習中。左から筆者、松浦先生、阿部憲之くん、山本直孝くん(八王子 2024年撮影)

「スマホ4台持っているんですね…何をされているんですか？」

エイベックス・マネジメント株式会社 社員 大貫 美波(25歳)

私は初対面の人によく「スマホ4台持っているんですね…何をされているんですか？」と驚かれます。使い分けは、iPhone SE、iPhone 11 proが私用、iPhone SE、iPhone 14 pro、iPhone 16 proが社用です。なぜこれほど多くの社用携帯を持ち歩いているかというと、SNS運用を仕事にしているからです。

私は学生時代からSNSが大好きで、いわゆるミ〜ハーな性格でした。インスタ映えるカフェを探したり、TikTokで流行りのダンス動画を追いかけていました。この時は、SNSが仕事に繋がるとは全く思っておらず、ただ好きで暇潰しで見えていました。

大学4年で内定先が決まったタイミングで、「エイベックス・ビジネスマスター(略EB)」に通い始めました。金融機関に就職が決まっていたのですが、どうしてもエンタメ業界に勤めたいという気持ち

が捨て切れず、通い始めました。EBではEBのSNS運用を担当し、これが私の人生の転機となりました。

InstagramやTikTokでEBの魅力を発信することが課題とされ、チームのリーダーを任されました。EBスタッフに任命理由を聞きましが、勤だったそうです(笑)運用内容としては、投稿案を考え、画像の制作や動画編集をしまし

マークとの記念写真



た。もちろん素人なので最初は探りです。フォロワーを増やすための戦略やエンゲージメントの向上についても分析を行いました。やっていくうちに形になり、TikTokでバズり、その結果が社内に広がりました。その後、ありがたいことに私の取り組みを評価していただき、アーティストのSNS運用をやってみないかと声がかかりました。現在、2組のアーティストのSNS運用・新人のSNSアドバイザーとして働いています。

「好き」を仕事にしているので、毎日がとても楽しくやりがいを感じています。自分が考えた企画や制作した動画がバズった時、友達やTikTokのおすすめに出てきた時に、達成感を味わいます。そんな私の次の目標は自分のアカウントを育てることです。将来的には、SNSを通じて新しいアーティストを発掘し、手掛けていきたいと考えています。そのためには、自分自身が影響力を持ち、信頼されるプロデューサーにならなければなりません。もし、



おおぬき・みなみ
1999(平成11)年、神奈川県横浜市生まれ。2021(令和3)年エイベックス・エンタテインメントビジネスマスターに入学し、22年にエイベックス・マネジメントと業務委託契約を締結。同年神奈川大学経済学部経済学科卒業。23年エイベックス・マネジメントに入社し、現在に至る。



社内での打ち合わせ



Instagram QRコード



これを読んで興味を持ってくださった方がいましたらInstagram (@minami_0510) にぜひ遊びにきてください!



皆様のご意見を
お聞かせください

ご意見
お聞かせください

宮陵会広報委員会では、『宮陵会報』(年2回、住所の分かる卒業生全員)や『宮陵』(年1回会費を納入されている卒業生全員)の発行を行っております。昨今あらゆる業界でコスト面への影響が懸念されています。そこで、少しでも諸経費の削減ができないかを検討するため、アンケートを実施することにしました。次のいずれかの方法でご回答くださるようお願い申し上げます。

▽回答期限

2025年1月31日(金)

▽回答方法

- ① WEB フォーム
(<https://forms.gle/mCFcmQDoJMXhQZ7R9>) -----> 回答フォーム QRコード
- ② E-mail (kyuryou-kohou@kanagawa-u.ac.jp)
- ③ FAX 045-413-0791
- ④ はがき 〒221-0802 横浜市神奈川区六角橋 3-27-1
神奈川大学宮陵会広報委員会アンケート係



1. 広報誌を宮陵会のホームページから閲覧できることをご存知でしたか。
 - ① ホームページで見たことがある。
 - ② 知っていたが見たことはない。
 - ③ 知らなかった。
2. 広報誌の閲覧について。
 - ① ホームページからダウンロードする。
 - ② 郵送を希望する。
 - ③ その他。
3. あなたの年代を教えてください。
 - ① 20代 ② 30代 ③ 40代
 - ④ 50代 ⑤ 60代 ⑥ 70代
 - ⑦ 80代以上

注文方法と商品の発送について

▼お届け先

お名前	フリガナ
ご住所	〒□□□□ - □□□□
FAX番号	
ご連絡先	
メールアドレス	
お支払い方法	
ご希望商品	ご希望本(枚)数

▼ご連絡
① 生協より金額確定のご連絡をします。
② 商品の到着をお待ちください。

▼注文FAX送信先
045-345-4867
上記必要な項目を FAX でお送りください。

▼お問い合わせ
神奈川大学生協同組合
〒221-0802 横浜市神奈川区六角橋 4-7-3
TEL 045-481-5681 担当 コサカ

KUロゴ入り 宮陵会オリジナル商品の販売

クラウドブルー

①ネクタイ

- 剣幅9cm×長さ146cm 100%シルク
- 1本税込3,900円(配送費別)。まとめ買いもできます。価格は3,900円×注文本数。
- 配送費の目安
レターパックライト 430円
レターパックプラス 600円

②スカーフ (残14枚)

- 88cm×88cm 100%シルク・12匁
- 1枚税込7,000円(配送費別) まとめ買いもできます。価格は7,000円×注文枚数。
- 配送費の目安 1,200円~1,700円

絵・渡邊恵子(1977年法律卒)



文・撮影／武笠健次(昭和41年法律卒)

趣味の写真撮影は、始めてから20数年。ライフワークと言っている。この2つの作品は、六本木の富士フィルムフォトサロン東京で今年9月、所属する「四季会」第36回写真展「四季彩美」に出品したもの。四季会は創立以来、銀塩フィルムにこだわり、自然を対象に、自然の奏でる一瞬の表情を表現した作品づくりに励んでいる。

一つは、20年近く通う長野県大鹿村で昨年撮影した全紙サイズで、夜明けに峡谷をバツクに朝日の輝く紅葉を明るく鮮やかに撮影。もう一つは、北海道美瑛市で本年1月、マイナス20度の厳寒の十勝岳に朝日が差した模様を全倍サイズでバランスよく撮影したもの。

神々しい朝日の営みは素晴らしかった。

母校、そして母港としての神奈川大学

神奈川大学国際日本学部教授 後田多 敦(62歳)

神奈川大学には現在もお世話になつていたので、遠景となつた学生時代と現在とが重層的に重なつてい

神奈川大学法学部に入學したのは1982(昭和57)年。学生運動の残照とでもいつていいのかわからない。卒業後、2015年に神奈川大学に採用され、現在は歴史民俗学部の教員(専門は日本近現代史、琉球史)として働いている。

法学部生、新聞記者から、歴史教員という経歴も神大と無縁ではない。社会人になった後に神大大学院歴史民俗学資料学専攻で歴史民俗学資料学を学んだことが、人生半ばの転身と新しい道への切符ともなつた。

新聞社で、論説委員をしてきたころ、社の経営企画室へ異動の声がかつた。「経営部門」への誘いは記者としては「ありがたい」のニュアンスだが、断れず会社の周年事業を担当した。ちょうどそのころ、新しい沖縄県立博物館・美術館の建設が進み、指定管理者制度が導入されることに

なつた。そこで会社役員らを説得し、周年事業として指定管理者に名のりをあげ、県立博物館・美術館の運営に乗り出した。

県立博物館・美術館の運営・事業計画や指定管理のための新会社設立、管理者への応募、企画展示、館運営などで、役立ったのが歴史民俗学資料学専攻で学んだ経験だつた。博物館・美術館の運営と企画や展示を通して、仕事で資料と向き合うことの楽しさ、面白さを体感した。その経験が歴史家への道を後押ししてくれた。そして、新しい道を進むその私を教員として拾ってくれたのが神大だつた。

与えられた役割、仕事などをこなしつつ、一歩踏み出す。そんな精神を学んだのは学部時代の齋藤靖夫先生の憲法ゼミナールだつた。ゼミは自由だっただけでなく、よく勉強もした。学生で自主ゼミも開催し、多様なテーマで議論した。その時の人権、沖縄や東アジアとの関係に対する宿題が、私の問いの原点となつている。その記憶もあり、教員となつた現

在もゼミを重視している。神大生気質もだいぶ変わったが、それでも「響く」学生がいる。ゼミで企画する講演会や勉強会も確実に対応していく。たくましい。今年の夏はゼミ生と中国・上海へ行った。私が学生へ呼びかけたものの、手続きの煩わしさに腰が引け始めると学生が積極的になつた。一歩踏み出せば、そこには学生だけでなく教員にも新しい発見

や出会い、成長がある。

「母校は人生の「母港」でもあるべきだ。」学び直しやリフレッシュ、交流、人には人生の節目に立ち寄る「母港」が必要だと、知人が語っていた。なるほどだと思ふ。神大がゆかりの人々の「母港」ともなるなら、その魅力ある場には多くの人が集い、発展するだろう。いま大学にいながら、そんなことを考えている。



いいただ・あつし
1962(昭和37)年沖縄県生まれ。1986(昭和61)年法学部法律学科卒業。新聞社勤務などを経て、2015(平成27)年に神奈川大学外国語学部国際交流学科に着任。現在国際日本学部歴史民俗学専攻所属。



上海の東方明珠塔をバックにゼミ生と



齋藤靖夫先生の憲法ゼミナールでの合宿での集合写真(1980年代半ば)



卒業生の声

多くの卒業生から

さまざまな声をお寄せいただきました。

英字辞書片手に…

和歌山県 岡村 光惟(87歳)

1961(昭和36)年法経学部法学科卒業

過日、海外(ニュージーランド)の方から英文のメールを頂いた。翻訳するため久しぶりに本棚から学生時代の使い慣れた英字辞書を取り出して悪戦苦闘です。しばらく英語に接しなかった私…、やっぱり英語は難しい。

このことがあって改めて英語を勉強するため、高校三年生の孫に使わなくなった英語の教科書を貸してほしいと言うと、「教科書」と「英文の基本的な骨組み」の本を届けてくれた。「六十歳の手習い」でなく「八十七歳の意気込み」で、時間は掛かりますが辞書を片手に四苦八苦で頑張っています。

さて現役から長く離れたこともあって、新聞や雑誌などの英文記事を読んでもすぐ訳せなくなりました。加速度的に老化が進む自分を励ましつつ、刺激を求めて日常生活に英語文と接する機会を多く持つことにして

いる。

また、日々の生活でも目に飛び込んでくる「もの」を見ると英語に訳し、心の中でブツブツといいながら歩いていると、時々、すれ違う人が振り返ります。「独り言をいいながら歩いている変な人」とでも思っているのでしょうか…ね。

これを機会に改めて英語に挑戦です。ガンバルぞ…。

「私の願いを叶えて下され」

神奈川県 吉見 一彦(88歳)

1959(昭和34)年法経学部法学科卒業

ふと、目が覚めた。「ここは何処?」天井もかべも白色につつまれた個室である。ベッドの中だ。私は胃に穴をあけ、チューブで栄養剤を注入される人間なのだ。高齢者を収容する施設にいる。

私の部屋は何処と聞く老婦人。赤い帽子をかぶり、ハンドバッグを片手に持ち、外出しようとする老婦人。私は朝1キロの鉄アレイを持ってウォーキングする。会う人々には、歩いていいわねと声をかけられる。ころばないように元気でねと、返事をする。

これから囲碁の勉強だ。盤面に向かい、パチリと黒石を打つ。私は関西棋院から六段の免状をいただいた。毎日が楽しい。
卒論に「宇宙法の予見」と題打つ

て提出したところ、四宮和夫先生から「すぐに拙宅に来るように」と電報をいただいた。お伺いすると、書き直すようにといわれ、「法の究極にあるもの―正義と秩序の調和」を書いて卒業した。

文化祭には「教育はいかにあるべきか」との弁論大会を企画・実行し、東大の川島先生にお願いし「結婚について」と題して講演して頂いた。仮装行列には「日ソ交渉は可決したけど」と鳩山一郎を演じた学生生活は楽しかった。過ぎし日进行と今でも血がぐつぐつと煮えたぎる良き時代だった。

次の作品は、NHK出版刊「はがき名文コンクール」『はがき万葉コンクール』第8回優秀作品(145ページ)に掲載されたものです。

右手にナイフを持ち
左手にフォークをもち
ステーキをくちに入れる
パクリとうまい!!

ここで目がさめた
夢だった

秋の夜のゆめだった

小生は経管栄養を胃ろうチューブで満たして生存している者です

くちから食したい

くちからゴクンと食したい
えん下したい

一言主神社の神さま

私の願いを叶えて下され

大連で出会った二人の友

千葉県 山本 善太(92歳)

1956(昭和31)年
工学部機械工学専修課程卒業

『宮陵』No.73で同学会大連があることを知り、急に懐かしく思い出され、書いてみることにしました。昭和7年(1932)生まれで、大連は引き揚げまでの少年期を過ごした私の故郷なのです。そこで出会った二人の中国人の友だちのことです。

父は満鉄。私たちは満鉄の今風の団地住宅アパート住まいで、煉瓦建ての2階に住んでいました。最初に知り合った友は、今では名前を思い出せませんが、その子は社宅の中の銭湯ポイラーマンの息子です。きつかけは思い出せません。ただ私があの規則通りの遊びしかしてくれない幼稚園から解放され、家へ走って帰り、玄関で待つてくれている友と二人だけの遊びに入るのが楽しみでした。焼芋やごっこ(子どもの遊び)など、とにかく楽しくて仕方なかった。中国語と日本語。二人はどんなことばだったんだろうか。不思議に通じていたのです。

母親たちとも親しく行き来していましたが、小学校に入る段階となり、その子も一緒に入れるものと思っていました。中国人の学校に入れなければならぬ規則だと言われ、母は学校長に何度も談判に行きました。でも駄目で、母は何度も腹を立ててい

たようです。

入学前、私たちは社宅からまた別の社宅に移ることになりました。二人の別れです。荷物を積んだトラックをボイラーマンの家族たちが見送り、出発。その子が、トラックの後ろにくっついて見えなくなるまで見送ってくれました。私のあげた三輪車で追いかけて。

もう一人の中国人の友。

小学校を卒業したのは、終戦の昭和20年3月。4月に大連工業土木科入学。ほとんど授業らしいことがなく、朝から夕方まで夏休みもなく、軍事教練と勤労奉仕。汗と泥。くたくたの毎日でした。そのうち、教室内でなぐり合いの喧嘩が始まった。中国人の一人と日本人の一人。とうとう教官室に連れて行かれ、皆で心配して待っていた。二人は黙りこくっていたが、土木科担任の先生の計らいで級長と副級長にさせられ、それから級の面倒を見るようにと命令された。

その中国人が私の友なのです。たった4カ月ほどの短い間でした。名前には覚えていません、王立仁君。満州貴族のように気品のある顔立ちで優しいのです。机が近かったので昼食時、時々中国マントウ（饅頭）をそっと私だけに差し入れてくれ、腹が空いていた私は本当に助かりました。

8月15日、作業中講堂に集合。玉音放送は雑音が多くて敗戦のラジオとは知らずに帰った。次の日、もちろん王君はいなかった。



昭和40年代の課外活動

広島県 中村 利夫（77歳）

1971（昭和46）年

工学部応用化学科卒業

神大での4年間で（昭和42年から46年）の課外活動について述べたい。

吹奏楽部 体育館の入学式で出会い、校歌演奏に感銘を受けた。練習場の講堂に行ってみると、大所帯で、大にぎわいであった。夕陽の空で、時折聞こえる音に、心が和んだ。全国大会は、常連で、いつも関西学院大と金賞を争っていた。

応援団 かなり大勢の団員がいて、応援が綺麗で整っていた。六角の菊の校章をあしらった応援団旗を風になびかせ、箱根駅伝および硬式野球で、校歌を大声で張り上げて斉唱していた。硬式野球では、猿の体についた蚕を相手側に飛ばす格好の応援（神大名物）に、皆の笑いを誘った。

陸上競技部 箱根駅伝の出場校は15校で、熾烈を極める戦いが行われた。神大は2回ほど出場を勝ち取ったが、健闘むなしく、14、15位であった。しかし、その後の活躍は、いうまでもない。

硬式野球部 今の横浜球場の前身である平和球場で、神奈川5大学硬式野球のリーグ戦が行われた。深緑の木造の球場で、老朽化が激しかったが、外野席は観客席がなく、美しい芝生で覆われていた。神奈川5大学は、神奈川大、関東学院大、横浜

国立大、横浜市立大、および防衛大である。優勝は、いつも関東学院大と争って、いつも神大が優勝した。プロにも数名入った。全日本大学野球選手権（神宮球場）にも出場し、日大などと争った。本館1号館前から神宮球場への応援バスも出て、硬式野球部の活躍は華々しかった。



カイザー先生の思い出

神奈川県 飯牟禮 成則（64歳）

1983（昭和58）年

第二経済学部経済学科卒業

英会話のローレン・カイザー先生は、1918（大正7）年7月生まれ。米海軍士官学校を卒業後、太平洋戦争に従軍。戦後、GHQで日本人の貧困救済を担当。追悼集には、先生が手配したベニシリンで一命を取り留めた方が寄稿されています。退役後は、英語教師となり、陽子夫人と結婚、茅ヶ崎に居を構えました。

歴史に無頓着な私は、先生からマツカーサー元帥や吉田茂首相、白洲次郎のお話を聞きそびれ、後にとても後悔しました。私は、働きながら夜間部に入學し「大学生なら英語話すべし」と誘われESSに入部しました。当時先輩は2人。そこでカイザー先生にお願いし、授業終了時に部員募集をさせていただきました。また、先生には、スピーチコンテストの審査や顧問を依頼。六角橋の居酒屋「松



学生時代にカイザー先生(中央)を囲んで。前列左から2番目が筆者

竹梅」や「大洋」での宴会にもご参加いただき、お酒の飲み比べも。当然ですが、元アメリカ海軍司令官。学生が勝てるわけがありません。酒席で焼酎「蕪村」を差し入れた先生に「中国の酒ですか」と尋ねた私は、「君、英語の前に日本文化を勉強したまえ」と突っ込まれてしまいました。帰国後、ご夫婦で地中海クルーズをされて「私の名前がたくさんあって面白かったよ」と年末の挨拶状に書いておられました。Kaiserは、カイザル・シーザー（皇帝）だったので、先生は、2009（平成21）年9月16日91歳で逝去されました。先生との思い出は、今も私たちの大切な財産です。



神奈川大学で 学んだことに感謝

北海道 白井 重耀 (87歳)

1963 (昭和38)年法経学部法学科卒業

私は高校時代に弁論部で、BBS運動 (Big Brothers and Sisters Movement)、非行少年の友達活動で少年のよき兄・姉として友達になって活動) を知り、卒業後、会社に勤務しながら、BBS運動の会員になり非行少年の友達活動を行いました。中学3年生と友達になりましたが、友達活動の難しさを知り学習をしているうちに、正木亮氏の「志願囚」を読み、検事の身分で囚人(受刑者)の経験をして、刑務所の改善を行った正木亮氏の下で、非行少年の学習を志し、神奈川大学に入学しました。

保育園を借りて学習塾を運営しながら、大学では刑事学研究会に入部して青少年問題の学習を行いました。刑務所や少年院、教護院(現在児童自立支援施設)などの見学や講義で学習しました。

3年になり、正木教授の刑事政策ゼミで学習することができました。正木ゼミは、正木教授と久里浜少年院で院生との座談会やソフトボールなどを行い、良い学習ができました。

刑事学研究会では3年で部長になり、多くの知識を得るため毎日、横浜の教護院向陽学院(男子)の実習を行ったりしました。私は卒業論文で、

札幌の教護院向陽学院(女子)の実態調査をしました。それを認められたのか、北海道中央児童相談所長から、北海道の福祉職を受験でき、希望の児童相談所に勤務し、教護児童や不登校などの指導をしながら、長期にわたり児童福祉の勤務をしました。退職後も社会福祉専門学校で教員や不登校のフリースクールなどで指導をすることができました。



正木教授と院生の座談会(神奈川の久里浜少年院)



大学祭後の仮装行列(刑事学研究会メンバー)

『宮陵』(No74号)の 「卒業生の声」の投稿を お待ちしております。

- ▼発行 2025 (令和7)年4月中旬
- ▼体裁 A4判、72ページ(予定)
- ▼部数 60,000部
- ▼字数 600字程度。テーマは自由。
- ▼郵便番号、住所、氏名、年齢、卒業年・学科、連絡先(原稿の確認が必要な場合のメールアドレス、携帯電話などを明記)。

- ▼締め切り 25 (令和7)年2月21日(金)。
- ▼掲載分には記念品をお贈りします。原稿は一部手直しする場合があります。
- ▼送付先 〒221-0802
横浜市神奈川区六角橋3-27-1
神奈川大学宮陵会
「宮陵会報No74号」係。
郵送またはメール
kyuryou-kohou
@kanagawa-u.ac.jp



情報をお寄せ下さい

国内外で活躍している卒業生の情報や話題などをお寄せ下さい。年2回(8月と12月)発行の『宮陵会報』や年1回発行の『宮陵』(4月発行)で紹介します。
神奈川大学宮陵会広報委員会



読者プレゼント

賞品

- ① 神奈川大学箱根保養所
1泊2食付ペア宿泊券/3名
(W110cm×H40cm)/10名
- ② 神大オリジナル・スポーツタオル

応募方法

ご希望の方は、はがきに希望の賞品(①か②)、名前、郵便番号、住所、電話番号(またはメールアドレス)、卒業年・学科、今号『宮陵会報』(No119号)の感想を書いて、
〒221-0802
横浜市神奈川区六角橋3-27-1
神奈川大学宮陵会「読者プレゼント係」
までお送り下さい。

締め切り

2025 (令和7)年1月31日(金) 11消印有効。当選者(抽選)の発表は、賞品の発送(2月中旬)をもって代えさせていただきます。

2024年度代議員選挙 代議員候補者名簿

2024年度代議員選挙 代議員候補者の公示について

2024年8月1日に公示いたしました代議員選挙につきまして、本委員会において代議員候補者推薦委員会による推薦候補者並びに立候補者の届出を審査いたしました結果、201名が被選挙人の資格を満たしており、代議員候補者として確定いたしましたところ、代議員候補者1名が辞退されましたので、代議員候補者は200名となります。

2024年度代議員選挙 代議員当選者の確定について

代議員候補者が定数(210名)を超えておりませんので、一般社団法人神奈川大学宮陵会代議員選任規程第9条第2項の規定により、候補者全員の無投票当選が確定いたしました。

一般社団法人 神奈川大学宮陵会
代議員選挙管理委員会
委員長 木内好信

(参考)

一般社団法人神奈川大学宮陵会代議員選任規程

第9条第2項 代議員候補者が定数を超えない場合は、投票を行わない。

代議員候補者をもって当選者とする。

番号	卒年	学科等	氏名	勤務先等	勤務先役職等
1	昭和	35	経	磯邊 晃 (元)米国フィデュシアリトラストインターナショナル東京(株)	代表取締役社長
2	昭和	35	経	片岩 光弘	
3	昭和	36	経	杉村 美智子 (元)日本鋼管(株)鶴見製鉄所	
4	昭和	39	法	山本 義弘	
5	昭和	39	経	黒田 勲	
6	昭和	40	経	松浦 修 (元)大垣共立銀行	
7	昭和	40	経	吉岡 御井子 英語講師、俳人(俳句指導)	(元)香川短期大学教授
8	昭和	40	短商	花島 幸子 (元)カワイ音楽教室	講師
9	昭和	41	法	武笠 健次 (元)(学)神奈川大学	
10	昭和	41	経	巽 正博 和歌山電工(株)	特別顧問
11	昭和	41	質	高名 治 (株)レッグズアンドハンズ	代表取締役
12	昭和	41	工経	川口 正寿 川口白鳳(株)	専務取締役
13	昭和	41	工経	和田 英雄 (元)神奈川機器工業(株)	
14	昭和	42	法	小川 隆司 (元)千葉県夷隅土木事務所	
15	昭和	42	法	三留 豊正 (元)茅ヶ崎市役所	
16	昭和	42	法	山下 敏勝 (元)東京都教職員研修センター	教授
17	昭和	42	経	足立 堅太郎 横浜足立セミナー(自営)	
18	昭和	42	経	原田 恵介 テクノサーブ(株)	代表取締役
19	昭和	42	経	藤井 洋 トーヨー(株)	代表取締役
20	昭和	43	経	岩井 志郎 (株)イワイテクニカ	会長
21	昭和	43	経	岡部 勝美 自営業	
22	昭和	43	経	吉村 勝利 (元)佐世保市役所	
23	昭和	43	質	浅野 博之 三洋テクニクス(株)	取締役会長
24	昭和	43	質	久保 清治 (元)横浜商科大学	学長・教授
25	昭和	43	質	鈴木 弘宣 (元)川鉄商事	
26	昭和	43	質	三縄 昭男 三縄昭男公認会計士事務所	代表
27	昭和	43	工経	伊藤 正幸 (元)(株)大嶋電機製作所	取締役社長
28	昭和	44	法	伊藤 恵一 白神不動産	代表
29	昭和	44	法	齋藤 勁 (一社)勤草塾	代表理事
30	昭和	44	法	白岩 征之 税理士法人きずな会計事務所	会長 税理士
31	昭和	44	経	片山 正敏 (元)神奈川銀行	企画部長
32	昭和	44	経	鈴木 忠 (株)旭倉庫	会長
33	昭和	44	経	村上 昌弘	神職(宮司)

番号	卒年	学科等	氏名	勤務先等	勤務先役職等	
34	昭和	45	法	大石 一二	大阪法律センター	弁護士
35	昭和	45	法	島田 武仁	(元)全国建設工業国民健康保険組合	徳島県支部 事務局長
36	昭和	45	法	細谷 憲二	(元)中央観光(株)	取締役会長
37	昭和	45	法	矢野 義博	(元)宮崎市	地域コーディネーター
38	昭和	45	経	今田 正紀	税理士法人コンタックス	代表社員 税理士
39	昭和	45	経	佐藤 重夫	エスエス労働問題・労務管理事務所	特定社会保険労務士
40	昭和	45	買	飯田 敏一	不動産賃貸業	
41	昭和	45	買	淀川 了一	(元)釧路市議会	議員
42	昭和	45	機	石田 順夫	(元)国際石田商事	社長
43	昭和	45	機	粕谷 和弘	(株)和宏製作所	取締役営業部長
44	昭和	45	建	山本 俊雄	(元)神奈川大学	教員
45	昭和	46	法	藤井 俊二	創価大学	名誉教授
46	昭和	46	経	杉崎 和紀	(元)函館信用金庫	常勤理事
47	昭和	46	経	多湖 秀明	(有)大喜	代表取締役
48	昭和	46	英	原 柳作	(元)神奈川新聞社	
49	昭和	47	法	春原 正三郎	(元)共和証券(株)	取締役営業本部長
50	昭和	47	法	佐々木 義廣	(元)(株)秋田魁新報社	報道部長・ニュースセンター長
51	昭和	47	経	伊藤 孝雄	(株)エフケイ・ジャパン	代表取締役
52	昭和	47	経	木谷 健一	木谷不動産	代表
53	昭和	47	買	石田 博英		
54	昭和	47	買	川名 明德	メイトクリニック鶴見	院長
55	昭和	47	英	泉澤 高光	サンパックス(株)	取締役会長
56	昭和	47	機	浦 晴雄	(元)エア・ウォーター・メンテナンス(株)	代表取締役社長
57	昭和	47	電	吉野 徹	(株)エービーエム	代表取締役会長
58	昭和	47	工経	小澤 幸夫	(元)神奈川大学	工学部
59	昭和	48	法	浮田 照義	みつぎ産業(株)	代表取締役社長
60	昭和	48	法	大川井 恒夫	(元)アズフィット(株)	
61	昭和	48	法	清貞 徹	(株)広研クラフト	代表取締役
62	昭和	48	法	佐藤 文一	自営業(貸家業)	代表
63	昭和	48	法	中村 久仁茂	不動産賃貸業	
64	昭和	48	経	小熊 正志	(一社)長岡100歳大学大学院	常務理事兼事務局長
65	昭和	48	経	宮澤 俊次	ナチュラルコム(株)	代表取締役
66	昭和	48	経	吉田 良一		
67	昭和	48	買	木村 仁	(株)カレンズ	代表取締役
68	昭和	48	買	熊澤 明	(元)湘南信用金庫	事務統括部事務集中課
69	昭和	48	買	小林 二三夫	行政書士	ファイナンシャルプランナー
70	昭和	48	買	塩塚 定雄	(元)(学)神奈川大学	事務職員(調査役)
71	昭和	48	買	和田 志朗	(元)(株)和田商店	相談役
72	昭和	48	機	朝山 隆	(元)清水鋼鐵(株)	取締役
73	昭和	48	機	西村 治寿賀	農業/(元)鳥取県職員	
74	昭和	48	機	本田 進	(元)(株)中部プラントサービス	
75	昭和	48	応化	関根 康生	(同)関根技術士事務所	代表
76	昭和	48	工経	實方 誠一		
77	昭和	49	法	一戸 貞壽	(元)神奈川県警察 警察学校	庶務部長
78	昭和	49	法	岩田 文明	鳥取県保護司会連合会	会長
79	昭和	49	法	桐生 秀昭	神奈川県議会	議員
80	昭和	49	法	出口 照雄	(有)出口コンサルティングオフィス/出口行政書士事務所	代表取締役/代表
81	昭和	49	経	久米 信行	(学)貞静学園/(学)鶴岡学園	監事/監事
82	昭和	49	買	田原 清彦	独立コンサルタント (元)近鉄エクスプレス	執行役員
83	昭和	50	法	大野 実	社会保険労務士法人大野事務所	代表社員 社会保険労務士
84	昭和	50	法	保喜 誠	(元)ナラサキ産業(株)	旭川支店 支店長
85	昭和	50	経	高師 利之	(元)みずほ銀行	
86	昭和	50	経	豊嶋 正孝	社会保険労務士法人豊嶋事務所	代表社員 社会保険労務士
87	昭和	50	買	高見 弘則	(元)(株)池田銀行	
88	昭和	50	買	武田 幸夫	(株)アド・リブ	会長
89	昭和	50	買	藤田 伸哉	税理士法人大門	税理士
90	昭和	50	英	亀山 修一	パラフーズPty:Lfd.	顧問

番号	卒年	学科等	氏名	勤務先等	勤務先役職等
91	昭和 50	工経	篠原 政行	(元) (株)ミツバ (元) (株)中島	
92	昭和 50	建	内田 青蔵	神奈川大学	建築学部特任教授
93	昭和 50	建	内村 博隆	(元)沼津市役所	企画部長
94	昭和 51	法	柴山 ひろこ	(株)啓成ホーム	代表取締役
95	昭和 51	法	三宮 政俊	西湘法律事務所	
96	昭和 51	機	内藤 正久	(元)京浜急行電鉄(株)	
97	昭和 52	法	森川 藏	(元)綾部市立綾部中学校	校長
98	昭和 52	法	渡邊 恵子	(公社)二科会	会友
99	昭和 52	経	西原 巧	(株)ニシコウポレーション	代表取締役
100	昭和 52	英	野口 等	窓研トーヨー住器(株)	代表取締役
101	昭和 52	工経	坂本 郁夫	(学)神奈川大学/パラマウントベッド(株)	常務理事/顧問
102	昭和 53	経	内山 曜子	農業	
103	昭和 53	貿	河野 雅年	(元)アルフレッサ(株)	
104	昭和 53	貿	西脇 幸二	(元)日本アイ・ビー・エム(株)	次長
105	昭和 53	機	出雲 正樹		
106	昭和 53	工経	田口 澄也	セレサ川崎農業協同組合	代表理事 副組合長
107	昭和 54	法	小島 弘	(元)相鉄ホールディングス(株)	常勤監査役
108	昭和 54	法	庄子 さち子	(株)ループ所属	シニアモデル
109	昭和 54	経	熊谷 耕史	個人事業主(Trip in real Japan)	
110	昭和 54	経	前山 恒明	(元)西中国信用金庫	地区部長
111	昭和 54	応化	飯田 健一	(元)多摩市役所	社会福祉法人指導検査員
112	昭和 54	建	潮 日出夫	(株)イサミヤールビー	代表取締役
113	昭和 55	法	高橋 三樹夫	(元)横浜市役所	
114	昭和 55	法	廣澤 一雄	(株)八雲堂	代表取締役
115	昭和 55	経	勝俣 信行	箱根セントラル生コン(株)	代表取締役
116	昭和 55	経	加藤 幹夫	行政書士加藤綜合法律事務所	代表 行政書士
117	昭和 55	経	寺越 和洋	白山市議会	議員
118	昭和 55	経	矢澤 将良	ライフガイド希望	代表
119	昭和 55	英	立花 久穂	神田外語大学	講師
120	昭和 56	法	伊東 慎介	東亜建設工業(株)	顧問
121	昭和 56	法	筒井 のり子	NPO法人めぐみ	介護福祉士・生活相談員
122	昭和 56	法	萩谷 恵里子	(元)(公財)水谷糖質科学振興財団	事務局長
123	昭和 56	法	萩谷 紀之	郵船ロジスティクス(株)	シニア・アドバイザー
124	昭和 56	法	渡部 健二郎	江崎工業(株)	管理本部 次長
125	昭和 56	経	相神 一裕	マルクセル(株)	取締役 監査等委員
126	昭和 56	経	佐藤 武	(一社)神奈川大学宮陵会	専務理事・事務長
127	昭和 56	経	堤 省三	(株)東京商工リサーチ	監査役
128	昭和 56	電	池上 敏昭	(株)シグマ	本社工エネ推進営業開発リーダー兼唐津営業所長
129	昭和 57	貿	杉野 正	T&Sコンサルティング(株)	代表取締役
130	昭和 57	経	永和田 隆一	日本私立学校振興・共済事業団	監事
131	昭和 58	法	佐藤 正浩	クリエートメディック(株)	代表取締役会長兼社長
132	昭和 58	法	堀江 美由紀	(学)神奈川大学	図書館事務部長
133	昭和 58	経	品田 文子		
134	昭和 58	貿	永田 晴彦	HIマックエンジニアーズ(株)	執行役員
135	昭和 58	西	北原 安代		フィットネスインストラクター
136	昭和 58	建	永川 武	日本下水道事業団	
137	昭和 59	法	萩原 くみこ	社労士東灘合同事務所 オフィス萩原	所長
138	昭和 59	貿	松坂 宏昭	(株)アクシス	営業開発部スーパーバイザー
139	昭和 60	法	末吉 孝弘	(株)パレスホテル	エグゼクティブ・オフィサー
140	昭和 60	法	三橋 英之	作新学院高等学校	教諭 吹奏楽部顧問
141	昭和 60	貿	土屋 晴男	東京広伸産業(株)	
142	昭和 60	英	手塚 正	(株)中央梱包運輸	顧問
143	昭和 60	電	貞方 康伸	NECビジネスインテリジェンス(株)	プロセス改革エキスパート
144	昭和 60	建	鶴田 哲男	(株)鶴田組	代表取締役
145	昭和 60	建	山中 憲幸	(株)プランディー	建築設備企画室 室長
146	昭和 61	法	後田多 敦	神奈川大学	国際日本学部教授
147	昭和 61	建	友澤 慎一	(株)アインテック	代表取締役

番号	卒年		学科等	氏名	勤務先等	勤務先役職等
148	昭和	62	経	柴崎 孝志	笹田実業(株)	部長代理
149	昭和	62	経	谷本 孝幸	川崎信用金庫	特別職員
150	昭和	62	経	能重 幸夫	(学)神奈川大学	
151	昭和	62	質	新堀 史明	神奈川県議会	議員
152	昭和	62	応化	指旗 博	(福)光友会	法人本部部長
153	昭和	62	建	馬場 英吉	(株)丸孝	代表取締役
154	昭和	63	法	松本 竜郎	ティーオーエル(株)	
155	昭和	63	経	河口 広行	自営業(写真撮影・タロット占い)	
156	昭和	63	質	和知 親裕	神奈川県新聞公正取引協議会	事務局長
157	平成	1	法	岡田 久美子	札幌学院大学	法学部教授
158	平成	1	経	村井 英一	家計の診断・相談室	代表/ファイナンシャルプランナー
159	平成	1	質	新嘉喜 康治	沖縄電力(株)	
160	平成	2	法	成岡 祐輔	入交トラストエナジー(株)	代表取締役社長
161	平成	3	経	岩本 善則	岩本行政書士事務所	代表
162	平成	3	経	神野 竜次	みずほ証券(株)	大阪法人部
163	平成	3	質	春山 貴広	GLOBIZZ Corp.	President
164	平成	4	経	岸村 泰征	みずほ銀行	多摩支店個人担当部長
165	平成	5	経	福澤 靖	みずほ証券(株)	執行役員エリア長
166	平成	5	質	八ッ橋 治郎	神奈川大学	経済学部
167	平成	5	国経	川野 祐二	久留米大学	経済学部教授
168	平成	5	応化	勝又 章好	神奈川大学	入試事務部 部長
169	平成	6	法	小峰 浩	湘南信用金庫	執行役員
170	平成	6	経	平田 晶丈	(株)あおぞら銀行	法人営業統括部部長
171	平成	6	情報	村山 宏幸	(学)神奈川大学	情報システム部部長
172	平成	6	応化	赤井 昭二	女子栄養大学	栄養学部教授
173	平成	7	法	難波 知人	(株)関東日立 北関東支社	
174	平成	7	国経	金井 保憲	かない社会保険労務士事務所	代表
175	平成	9	経	小菅 貴春	(株)小菅不動産	代表取締役
176	平成	9	経	松井 晋一	ショーワテック(株)	代表取締役
177	平成	9	化学	永田 雅人	(福)富士白苑	
178	平成	11	国経	矢島 俊明	(株)舞浜コーポレーション	取締役 総務部長
179	平成	11	化学	平出 功	(公財)日本分析センター	調査役
180	平成	12	国経	湯川 恵子	神奈川大学	経営学部 教授
181	平成	12.9	質	小野田 雅一	衆議院議員塩谷立事務所	秘書
182	平成	13	法	松永 仁美		
183	平成	13	経	近 聡子	(株)三奥屋	常務取締役
184	平成	13	英	古閑 千保子	オークウッド・プロパティ・マネジメント・サービス東京(有)	
185	平成	14	経	舟倉 大輔	税理士法人舟倉税務会計事務所	代表社員
186	平成	15	経	棟方 久美子	横浜信用金庫	
187	平成	15	質	中村 友美	アーツアンドクラフツ(株)	人事総務部 部長
188	平成	16	国経	松田 孝一	(有)松田工務店	代表取締役
189	平成	17	質	大塚 友広	(株)イノベーション	バイスプレジデント
190	平成	17	経博前	金子 浩也	税理士法人エスケーワイ	社員
191	平成	18	中国	武井 克真	(福)伊勢崎市愛のはぐるま会	
192	平成	18	法務	横山 朗	SKY総合法律事務所	
193	平成	19	自治	高嶺 徹	(学)神奈川大学	事務職員
194	平成	20.9	生物	齋藤 礼弥	神奈川工科大学	専門教育講師
195	平成	21	自治	加藤 央之	(株)物語コーポレーション	代表取締役社長
196	平成	22	生物	有益 優	東京女子医科大学	医学部病理学講座助教
197	平成	23	経	水野 千夏	(株)せん	代表取締役
198	平成	23	現ビ	棚橋 彩香	(株)テレビ静岡	
199	平成	24	国経	下村 亜里紗	明治安田生命保険(相)	
200	平成	25	国文	村竹 渚	全日本空輸(株)	客室訓練部所属

注)番号 卒業年・学科順

大学からの
お知らせ



ホップ

栽培プロジェクト

横浜キャンパス、みなとみらいキャンパスの2キャンパスで、学生が中心となりホップを栽培管理し、オリジナルビールを醸造する取り組みを実施しました。

今年度はみなとみらいエリアにあるREVO BREWINGさんとの連携で両キャンパスのクラフトビールを数量限定で樽・瓶で醸造・販売しました(販売情報はREVO BREWINGさんのインスタグラム(@REVO.ONE)から確認してください。価格はオープン価格)。

※販売開始が取り扱い店舗ごとに違うため情報提供がしづらい、申し訳ございません。

また今回、(株)kitaafukuさんが製紙企業と連携し開発した、ビールを醸造する際に発生するモルト粕を、CO₂を排出する燃焼処理をせず製造するアップサイクル再生紙「クラフトビールペーパー」を使用したオリジナルコースターを作成しました。コースターは販促品として使用していきます。

横浜キャンパス

酷暑の影響からか毬花(いわゆるホップの実)になかなか育たず、同種のホップを栽培している附属中・高等学校(中山キャンパス)のご協力で毬花を分けていただきました。今年は収穫で昨年並みの収穫量を確保することができました。



コンセプト:家族や親せき、仲間など大切な人と久しぶりの再会などの節目で楽しく笑いながら飲むビール

フレーバー: PALE ALE

ビール名: KU Laugh to Beer 2024 (クラフトビール2024)

ラベルデザインコンセプト:横浜キャンパス8号館のフレームの中に「笑」を擬人化したイラストで楽しさを表現。左右にホップのイラストを配し、キャンパス名の「YOKOHAMA」を「NAKAYAMA」に記載することによって中山キャンパスとの連携を表現しました。



みなとみらいキャンパス

今年度は、7月上旬には毛花が毬花に成長。複数回収穫を実施しました。その後は酷暑の影響で、毬花に育つ前に焦げるように枯れてしまう状況になったため、8月上旬には蔓を降ろし、全ての花を収穫しました。



コンセプト:友人と初めて乾杯する時に飲むビール

スタイル: LAGER

ビール名: PROUD BREW 2024 My First Lager

ラベルデザインコンセプト:ビール瓶のイラストの上に「Cheers!」の文字を入れ、乾杯のシーンを想起させることで、楽しさや共有の瞬間を強調。下部に描かれている客船と波のデザインで、港町である横浜特にみなとみらい地区を表現しました。



「みなとみらい秋まつり」の様子

また、今年度はエンドユーザーとコミュニケーションを図ることでプロジェクトを再認識し、経験値を上げることを目的として学生がエリアのイベントに参加しプロモーション活動を行いました。

(神奈川県社会連携部調査役 小林敏昭)



横浜キャンパスのコースター



みなとみらいキャンパスのコースター

神大駅伝チームと一緒に熱い声援を送ろう!!

【沿道での応援について】

- ◎有志応援に参加して下さる方は、各区間に設定した応援ポイントと一緒に応援してください。各応援ポイントは大学ののぼりが目印です。
- ◎各応援ポイントには通過予定時刻を記載してあります。参考にしてください。
★は重点応援ポイントです。
- ◎沿道での応援には、選手通過予定の1時間以上前からの応援禁止等、様々な制約があります。当日は必ず大会スタッフの指示に従ってください。
- ◎スタート地点・ゴール地点において、チアリーディング部と管弦楽団による応援活動を行う予定です。

神奈川大学HP&SNSをチェック!

Access!

神奈川大学駅伝サイト <https://ekiden.kanagawa-u.ac.jp/>
上記URLにアクセスしてください。当日、選手の速報をお伝えします。



エキデンサイト

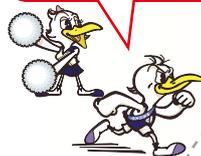


Facebook



大会当日はもちろん、大会前から様々な情報をホームページやSNSで配信しています。

皆さんの熱い応援が選手たちの力になります!!
ご声援よろしくお祈りします!!



小田原中継所

鈴廣前

予定時間
往路 12:10
復路 8:57

第5区

小田原▶箱根
20.8 km

第4区

平塚▶小田原
20.9 km

第3区

戸塚▶平塚
21.4 km



東京大手町・読売新聞社前

●往路 スタート予定時間	●復路 ゴール予定時間
8:00	13:21

鶴見中継所

市場大和町歩道橋

予定時間

往路	9:01
復路	12:13

第9区

戸塚▶鶴見
23.1 km

戸塚中継所

古谷商事前

予定時間

往路	10:07
復路	11:04

箱根・芦ノ湖入口駐車場前

●往路 ゴール予定時間	●復路 スタート予定時間
13:21	8:00

平塚中継所

唐ヶ原交差点

予定時間

往路	11:09
復路	10:00

応援マナーを守りましょう!

禁止事項

- 脚立を使つての応援は危険ですのでおやめください。
- SDGsの観音および他の観客や一般の方へのご迷惑なることを回避するため、小旗やのぼりの掲示は極力お控えください。
- ガードレールや橋など、沿道公共物への横幕、旗、のぼり等をくくりつけることはできません。
- 自動車、自動二輪車、自転車等の車両による応援はできません。
- 混雑緩和と、応援者の場所取りなどによる混乱を避けるため、スタート地点、フィニッシュ地点、中継所の前後100m以内では出場校を示す物は掲出できません。(例)校旗、部旗、その他、大学を標する横幕、旗、大学新聞の配布等。
- 道路上での応援は危険です。必ず歩道から応援してください。
- ペットをお連れの方は道路に出ないよう、ご配慮ください。
- 選手は歩道寄りギリギリを走ってきますので、歩道から手を出したり身体を乗り出している応援は危険です。
- コース周辺の無人飛行機(ラジコン、ドローン)の操縦、飛行、自撮り棒の利用はできません。